

時季に応じた情報発信・普及啓発(1)

4～6月頃：暑熱順化やエアコンの早期点検等の呼びかけ



暑くなるまでに…

- ・庁内外との連携、連絡体制の再確認・再構築
- 熱中症警戒情報、熱中症特別警戒情報が発表されたときの体制準備
- ・広報誌面・紙面の検討、
- ・チラシ、ポスター等のデザイン確定、
- ・町内会、自治会等への展開準備

●経済産業省

「夏季を迎える前のエアコン試運転の重要性について」

(https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/air_conditioner/maintenance.html)

「エアコンシーズン前点検パンフレット」

(https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/air_conditioner/air_conditioner_maintenance.pdf)

- 一般社団法人日本冷凍空調工業会では、4月10日を『エアコン試運転の日』に制定し、夏までに、エアコンの試運転と確認を行うことを推奨している。

7月頃：梅雨明けに特に熱中症のリスクが高いことを国民へ注意喚起

- 高齢者、こども等の熱中症弱者のための見守り・声かけ強化
- 電力需給ひっ迫時も、節電にも配慮したエアコンの適切な使用の呼びかけ
- こまめに水分・塩分を補給
- イベント開催時の普及啓発
- 主要施設へのパンフレット、リーフレット、広報誌、チラシ等の配架、
- テレビ、ラジオ、大型ビジョン等での放映、
- 広報車の展開



時季に応じた情報発信・普及啓発(2)

8 月 頃 : 盛夏における熱中症対策の一層の呼びかけ

- 高齢者、こども等の熱中症弱者のための見守り・声かけ強化
- 電力需給ひっ迫時も、節電にも配慮したエアコンの適切な使用の呼びかけ
- こまめに水分・塩分を補給
- 「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」を参考にした対策の検討・実施
(https://www.wbgt.env.go.jp/sp/heatillness_gline.php)

[例]

- ・大規模な路上、公園等での集団演舞イベント、夏祭り
- ・音楽イベント
- ・花火大会
- ・マラソン大会
- ・大規模広域スポーツイベント
- ・野外団体活動

6 月 ~ 9 月 : 災害時における熱中症の注意喚起

- インフラ障害、物資の不足
 - ・停電
 - ・断水
 - ・物資の不足
- 避難時の生活環境
 - ・避難所
 - ・車中避難
 - ・在宅避難
 - ・不衛生な環境
- 慣れない重労働
 - ・復旧作業



暑いうちに…

- ・今夏の施策について振り返り・見直しの準備
(熱中症救急搬送者数などデータの整理・分析、
庁内外との連携、連絡体制の再検討、調整など)
- ・次年度へ向けた予算化、事業計画策定



詳細は「熱中症特別警戒情報等の運用に関する指針」

『熱中症特別警戒情報等に関するフェーズ毎の国民へ呼び掛ける行動の整理表』をご参照ください。

https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/doc_shsa/20240227_doc01.pdf#page=15